

金利上げ私も今日から変わります

重宗 隆治

墓参り前横後ろ墓じまい

今川 昇

ほうれい線どこの路線と若き君

藤井 節子

この服はまだ着れるかと又直す

磯部 佳子

思春期のベッドの下にかくす本

戸田 征子

きんりあげわたしもきょうからかわります

しげおね たかじ

はかまいりまえようしろはかじまい

いまがわ のぼる

ほうれいせんどのろせんとわかききみ

ふじい せつこ

このふくはまだきれるかとまたなおす

いそべ よしこ

ししゅんきのべっどのしたにかくすほん

とだ まさこ

うららかや小さき祠にカッブ酒

林 保江

糸雨の光たたえて竹の秋

藤岡 久美子

発表会のはにかむ笑顔風光る

村瀧 富子

降り立てば桜満開無人駅

寺畑 俊子

蒲公英の踏まれて尚も笑顔かな

三戸 志津江

うららかやちさきほこらにかっぶぎけ

はやし やすえ

いとさめのひかりたたえてたけのあき

ふじおか くみこ

はっぴょうかいのはにかむえがおかぜひかる

むらたき とみこ

おりたてばさくらまんかいむじんえき

てらはた としこ

たんぽぽのふまれてなおもえがおかな

みと しづえ

夫の植えし梅に新芽を見る朝は
共に歩みし日々のふくらむ

原田 ヤスエ

洗濯もの実家の方がいい香り
帰省の息子の言葉に励む

弘重 和恵

あたらしき職場へ向かう広き背の
やや強張るを長く見送る

松永 美千代

春の水勢い強く皿洗う
気持ち軽やかハミングルル

山口 正子

空き家を見守るごとく藪椿
深紅の花の賑やかに有り

原田 たえ子

つまのうえしうめにしんめをみるあさは
ともにあゆみしひびのふくらむ

はらだ やすえ

せんたくものじっかのほうがいいかおり
きせいのおすこのことばにはげむ

ひろしげ かずえ

あたらしきしょくばへおかうひろきせの
ややこわばるをながくみおくる

まつなが みちよ

はるのみずいきおいつよくさらあらう
きもちかるやかはみんぐるる

やまぐち まさこ

あきいえをみまもるごとくやぶつばき
しんくのはなのにぎやかにあり

はらだ たえこ

すべて流して春の雨に濡れていく

佐川 智英実

花の下スマホの少女の声がはじける

賤間 由美子

涙でにじんだ寄せ書きはパステルカラー

松下 満江

まあたらしい朝お気に入りのお茶わんで

田中 律子

平成の子らに通じない昭和の言葉

岡部 雅江

すべてながしてはるのあめにぬれていく

さがわ ちえみ

はなのしたすまほのしょうじよのこえがはじける

ざいま ゆみこ

なみだでにじんだよせがきはばすてるからー

まつした みつえ

まあたらしいあさおきにいりのおちゃわんで

たなか りつこ

へいせいこのらにつうじないしょうわのことば

おかべ まさえ